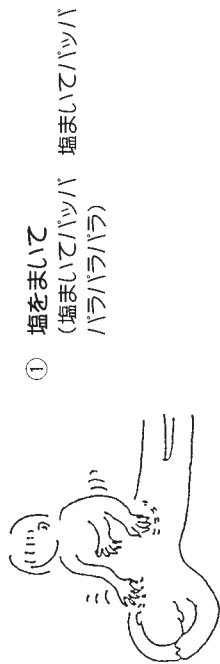


●●● 第2章 子どもとふれあう実践の展開 ●●●



① 塩をまいて  
(塩まいてパッパ 塩まいてパッパ  
ハラハラハラ)



② すりこんで  
(すりこんで シコッシコッ すりこんで  
シコッシコッ シコッシコッシコッ)



③ 板すりして  
(ころがして コロコロ ころがして  
コロコロ コロコロコロ)

④ すーつと洗って  
(水あらい サーサー)



⑤ こまかくきざんで  
(トントントン トントントン  
どこが気持ちいいかってね)



最後は、いだけきまーす。好きはどころ  
がらつまって、ムシヤムシヤムシヤ。  
おいしがった。こちそうさま。  
ああ、いい気持ち、で交代です。

ムに合わせてすることができます。指先が、筋肉がどうのこうのといった難しいことはなく、楽しみながら、おとな子ども、子どもと子どもが自ら育っていく最良の質(常民)の子育て法がそなわっているといえます。

私たちはこの何年間、いろいろ工夫しながら、各地で少しづつありますが「いたずらきゅうり」体操を伝えあってきました。

- ①塩をまいて 寝そべったきゅうりさんに指先でとんとん ②すりこんで  
手のひらで塩をすりこするように ③板すり ころころ ④すーつと洗って  
首から足へサーと一息で ⑤とんとんと切つていただきます こちそうさま そして交代

1

からだ・ことば・リズム

理論編

1 手あそび・からだあそびの意味

私たちが日常何気なくしているあそび、動作をあらためてみつめなおしてみると、いかにからだ・ことば・リズムが密接に結びついているかがわかります。いくつかの例で確かめてみましょう。

たとえば、よく行なわれている「げんこつ山のタヌキさん」という手あそびをみてみましょう。

- (1) げんこつ山のタヌキさん (両手をにぎって上下に交互ふり)  
(2) おっぱい飲んで (両手指を閉したり開いたり)  
(3) 寝んねして (手を合わせ首のところへもってきて首を左右に曲げる)  
(4) 抱っこして (抱っこ動作)  
(5) おんぶして (おんぶ動作)  
(6) またあした (手をにぎり、腕を回旋してジャンケンポンをする)

このあそびの中には、手(腕)、指のあらゆる動作が含まれています。そして、小さい子にはゆつくり、その子のリス